

臨床腫瘍科 後期臨床研修プログラム

I. 目的と特徴

臨床腫瘍科は、組織横断的ながん診療と多職種によるチーム診療に基づいた、がん薬物療法の適切な実践が修得できるよう教育を行います。がん薬物療法の適切な実践とは、どの臓器がんにも当てはまる見方・考え方に、それぞれの臓器がんの特性とエビデンスを加え、臓器障害や合併症に適切に対処し、最善の薬物療法を行うことです。また、各職種が専門性を発揮しやすい環境で一人の患者さんをチームで診療することを通して「患者さん中心のチーム診療」を実践・修得します。

II. プログラム責任者

教授 河田健司

III. 運営体制および指導医数

研修期間は2年。

教授：河田健司 がん薬物療法専門医・指導医

助教：船橋依理子

IV. 臨床実績

1日平均入院患者数：24名

治療を行っているがん腫：胃がん、食道がん、頭頸部がん、泌尿器腫瘍、大腸がん、肉腫、原発不明がん、稀な腫瘍等

V. 定員：数名

VI. 研修カリキュラム

外来および入院診療を通して、固形腫瘍治療の理解及び実践、がん化学療法の支持療法、およびオンコロジーエマージェンシーへの対応を修得します。

最初の6か月は臨床腫瘍科において外来および入院患者の診療を行います。その後は他の診療科を希望に応じてローテーションし、内科全般あるいはがん診療の研修を行います。2年次は臨床腫瘍科に戻ります。1-5年間、大学病院、希望に応じて国立がん研究センターなどがん専門病院あるいは総合病院での研修を行います。

【週間スケジュール】CB=キャンサーボード

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00-8:30			泌尿器科CB			
8:30-9:00	外来薬物療法センター多職種キャンサーボード+抄読会					

9:00-16:00 (土は 12:30)	外来、病棟患者診療					
16:00-16:30	外来薬物療法センター多職種がんボード					—
17:30-18:00			頭頸部癌 CB	臨床腫瘍科 カンファ		
18:00-18:30	食道胃癌 CB	婦人科 CB				
18:30-19:00		肺癌 CB		乳癌 CB		

取得できる専門医

日本内科学会認定医、同専門医

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

日本がん治療認定医機構認定医

など

VII. 窓口担当者

河田健司（教授）